

ご購入後も安心の国内サポートサービス

OpenBlocks・OpenBlocks IoT・EasyBlocks各製品は、製品ごとにサービスの提供内容は異なりますが、すべての製品で長期利用を前提としたサポートサービスを提供しています。

導入前の相談から納品後のサポートまで、国内の本社のスタッフが対応しています。

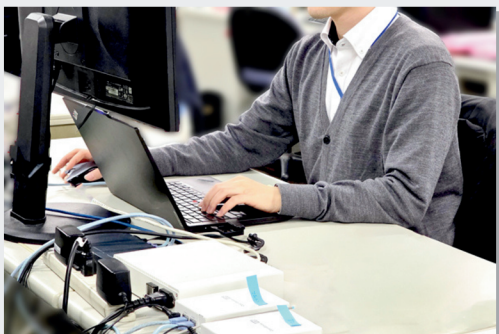


サポート担当者からのコメント

サポート対応で一番意識しているのは、「迅速で、わかりやすい回答」です。お問い合わせをいただいた際に、できるだけお待たせせず、曖昧な説明にならないことを大切にしています。

また、担当者によって対応が変わらないよう、サポートチーム全員が同じ方針で対応できる体制づくりも心がけています。

ぷらっとホームのサポートの強みは、開発拠点との距離が近い点です。ハード・ソフトともに自社開発のため、技術的な質問にも迅速に対応できます。困りごとを解決し、「助かりました」と言っていただけたときに、この仕事のやりがいを感じています。



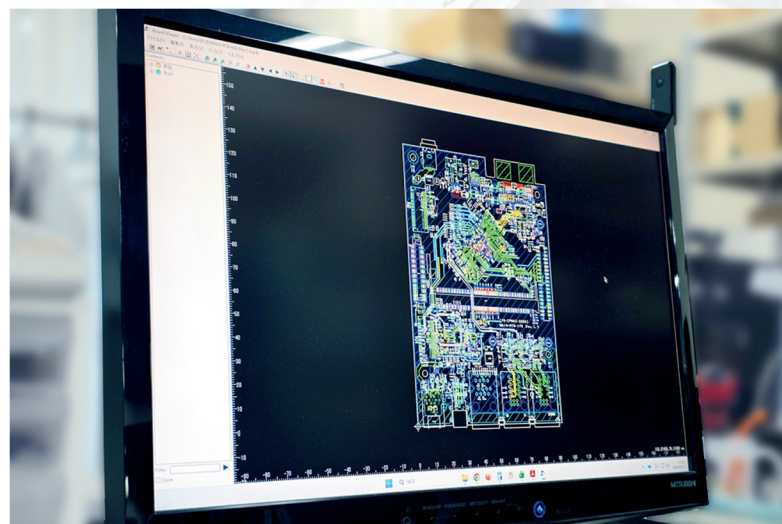
生産担当者からのコメント

ぷらっとホームで生産の仕事始めて、もう20年近くになります。基板などの繊細な部品が多いので、製品の扱いには特に気を配っています。

生産や検品というと単純作業に見えるかもしれませんが、実際には製品ごとに構成が違い、毎回考えながら作業しています。流れ作業にならず、技術的な工夫が必要どころが、この仕事の面白いところですね。1台ごとに仕様が異なる注文にも、熟練したスタッフが柔軟に対応できることが、ぷらっとホームの強みだと思います。製品には購入後1年間のサポートサービスが付いていますので、導入後も安心して使っていただければと思います。



当たり前を、30年積み重ねる ぷらっとホームの**国内一貫体制**



Plat' Home

TECHNOLOGY to serve you.

Plat' Home

TECHNOLOGY to serve you.

ぷらっとホーム株式会社 <https://www.plathome.co.jp/>
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-3 日本ビルディング九段別館3F
TEL: 03-5213-4370 EMAIL: sales@plathome.co.jp



webページは
こちらから

Made in Japan

そのすべてを、国内で生産・検品

累計出荷台数

19万台以上

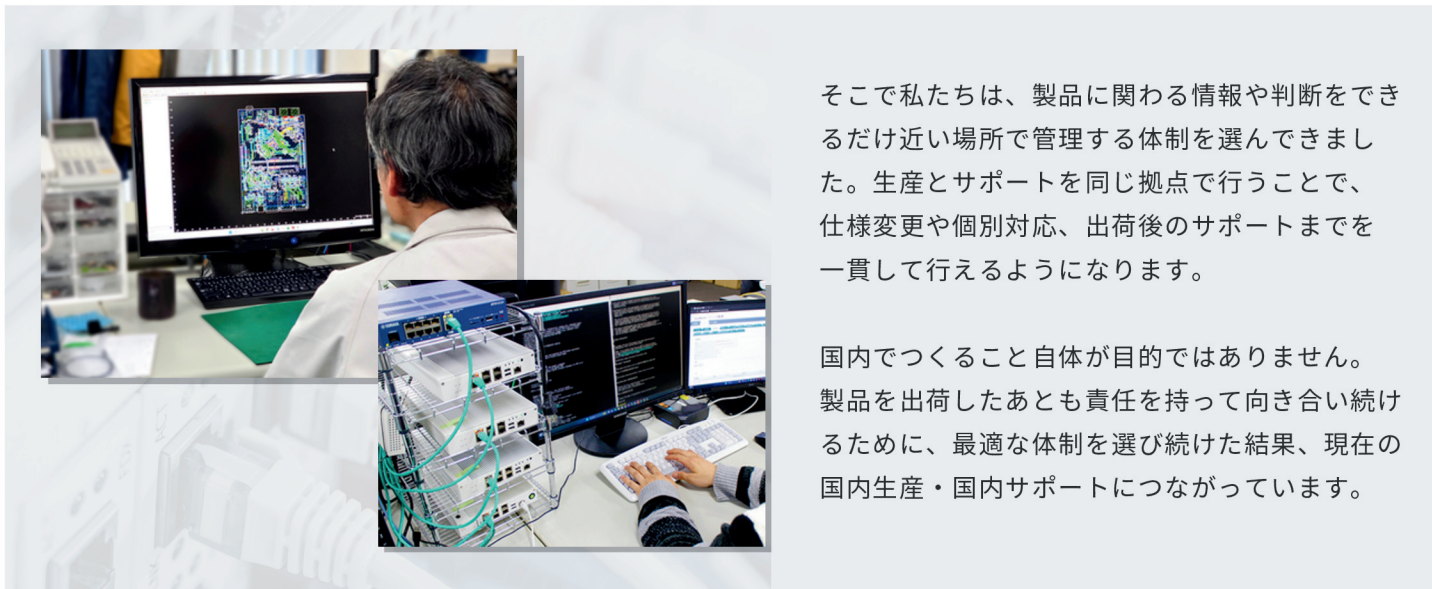
※2026年2月現在



ぷらっとホームが Made in Japan であり続ける理由

1993年の創業以来、
自社製品の設計から生産・検品・出荷、納品後のサポートまで、
すべて自社の中で完結させてきました。

製品の仕様や構成は用途によって異なり、担当部署同士の連携が欠かせません。
また、導入後の問い合わせでは、生産時の状態やソフトウェア構成を把握していることが、迅速な対応につながります。



そこで私たちは、製品に関わる情報や判断をできるだけ近い場所で管理する体制を選んできました。生産とサポートを同じ拠点で行うことで、仕様変更や個別対応、出荷後のサポートまでを一貫して行えるようになります。

国内でつくること自体が目的ではありません。製品を出荷したあとも責任を持って向き合い続けるために、最適な体制を選び続けた結果、現在の国内生産・国内サポートにつながっています。

設計から生産、サポートのすべてを東京で



OpenBlocks
シリーズ

手のひらサイズの堅牢な国産マイクロサーバー。ファンレス設計による高耐久性と、Linux OS採用による高い汎用性が特徴。

ネットワーク監視や通信制御など、過酷な現場での長期安定稼働に最適。



OpenBlocks IoT
シリーズ

最先端ソフトウェアFWを搭載したモノとインターネットを繋ぐIoTゲートウェイ。各種通信規格やプロトコル変換に対応し、過酷な設置環境でも安定稼働する国産の堅牢なエッジコンピューティング端末。



EasyBlocks
シリーズ

SyslogやDHCP、死活監視などのネットワーク機能に特化したアプライアンス製品。Web画面からの容易な設定・運用を実現。設定の手間を省きつつ、堅牢な筐体で安定稼働する専用機。

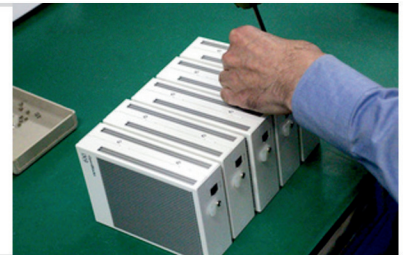


1台1台を人の手で、生産から検品まで全7工程

STEP 01

部材・本体のクリーニング

生産を開始する前に、使用する部材や本体の簡易清掃を行います。本体については一度分解し、エアダスターなどを用いて、製造・保管過程で付着した微細な汚れや異物を取り除きます。この工程は、後続の作業や検査を正確に行うための重要な下準備となります。



STEP 02

部材の組み付け

SSD、通信モジュール、アンテナなど部材を1台ずつ組み付けます。すべての作業は人の手で行われ、部材の取り付け状態や固定状況を確認しながら進めます。製品ごとの構成差異にも柔軟に対応できる体制で生産を行っています。



STEP 03

通電・初期動作確認

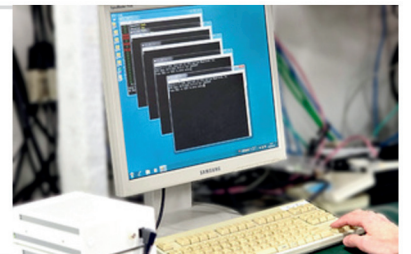
部材の組み付け後、通電を行い、本体および各部材が正常に動作するかを確認します。電源投入時の挙動や、明らかな異常がないかをチェックし、次工程へ進められる状態であることを確認します。初期段階での確認により、不具合の早期発見につながっています。



STEP 04

ソフトウェアの書き込み

ソフトウェアの書き込みを行います。生産工程の中で書き込みを実施することで、出荷前に動作確認まで完結させることが可能です。用途に応じた設定や個別キッティングにも対応しており、導入時の作業負担軽減に貢献します。
※本工程は有償オプションとなる場合があります。



STEP 05

動作検査（検査プログラム）

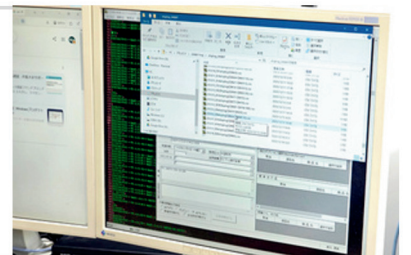
検査用プログラムを実行し、製品が仕様通りに正常動作しているかを確認します。ソフトウェアが正しく書き込まれているか、LANポートやLEDの動作、CPUやメモリが想定された性能で動作しているかなど、複数の観点から検査を行います。



STEP 06

生産ログ取得（トレーサビリティ）

検査完了後、トレーサビリティを目的とした生産ログを取得し、保管します。いつ、どのシリアルナンバーの製品が、どのソフトウェア構成で生産されたかを記録しています。これにより、出荷後の問い合わせやトラブル発生時にも、生産履歴をもとにした対応が可能です。



STEP 07

最終確認・梱包

すべての工程完了後、生産過程で付着した汚れなどを拭き取り、外観を最終確認します。問題がないことを確認したうえで梱包を行い、出荷します。1台ずつ状態を確認してから出荷することで、安定した品質で製品を届けられる体制を維持しています。

